

# 東京ガス通信

2012春夏号

株主の皆さまへ

2012年3月期

(2011年4月1日～2012年3月31日)

P.1 連結決算ハイライト

P.2 株主の皆さまへ

P.5 特集

LNGバリューチェーンの高度化に向けて  
—「チャレンジ2020ビジョン」の進捗

P.9 ガスでエコ

P.10 ガスで味わう旬の食卓

P.11 連結決算のご報告

P.14 会社情報



# 連結決算ハイライト

## 2012年3月期 業績のポイント

- ・ ガス販売量は、震災影響等による発電需要の伸びが業務用需要の減少分をカバーし、2011年3月期と比べ3.0%増加しました。売上高は、電力売上の伸びが貢献したこともあり、前期比14.3%増の1兆7,542億円となりました。
- ・ 原油価格の上昇などが影響し営業費用が増加したため、営業利益は前期比37.1%減の770億円となりました。また、当期純利益は前期比51.8%減の460億円となりました。

業績に関する詳しいご説明は、P.11をご覧ください。

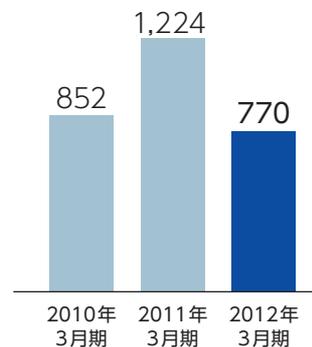
### 売上高

(億円)



### 営業利益

(億円)



### 当期純利益

(億円)



## 2013年3月期 通期業績の見通し

- ・ 都市ガス売上高が増加する見通しであることに加え、電力も引き続き売上増が見込まれることから、売上高は当期比9.1%増の1兆9,140億円となる見通しです。
- ・ 営業利益、当期純利益とも当期を上回り、増収増益を達成できる見通しです。

株主の皆さまへ



## グループ丸となって 「LNGバリューチェーンの高度化」 に努めます

代表取締役社長 岡本 毅

### 2012年3月期のご報告

昨年3月11日に発生した東日本大震災から1年が経過し、この間にわが国の社会・経済は大きな情勢の変化を経験しました。エネルギーのあり方が改めて問われ、安全性・供給安定性・経済性・環境性に優れた天然ガスに対する社会からの期待が高まっています。

こうした事業環境の変化を踏まえ、当社グループは2020年にありたい姿を描いた「エネルギーと未来のために東京ガスグループがめざすこと。～チャレンジ2020ビジョン～」(以下、「チャレンジ2020ビジョン」)を2011年11月にとりまとめ、「LNGバリューチェーンの高度化」をテーマにさまざまな具体的取り組みを進めています。

2012年3月期の業績としましては、ガス販売量が前期と比べ3.0%の増加となり、前期に引き続き増収となったものの、原油高の影響でガス原材料費が増加したこと、退職給付数理計算上の差異の負担額が増加したことなどから減益となりました。

## チャレンジ2020ビジョン

チャレンジ2020ビジョンでは「LNGバリューチェーンの高度化」を推進しています。原料調達から製造・供給、エネルギーソリューションの提供に至るまで、高い付加価値を提供することに加え、事業エリアを日本全国、また海外にも拡大していきます。

### 調達源の多様化と海外事業の拡大

非在来型天然ガスも含めた調達源の多様化により、原料価格の低減と供給安定性の確保をめざしています。2012年1月には、西オーストラリア州沖合で開発が進むイクシスLNGプロジェクトへの事業参画を決定し、4月には米国コーブポイントLNGプロジェクトからの調達について、協議を開始しました。また5月には、当社が5%の権益を取得しているオーストラリア・プルートプロジェクトが生産を開始しました。

海外の天然ガス火力発電事業やガス供給事業の拡大による、海外LNGバリューチェーンの構築も進めています。2012年3月には、ペトロベトナムガス社と包括協力協定を締結しました。天然ガスをコアとして、グループの強みを活かせるエネルギーサービスやエンジニアリング事業を海外へ展開することも視野に入れていきます。

### 千葉～鹿島ラインが竣工

天然ガスの普及・拡大に合わせた最適なインフラを整備・拡充すべく、幹線の整備を進めています。2012年3月には、千葉～鹿島ラインが竣工し鹿島臨海工業地帯に向けた供給を開始しました。鹿島臨海ライン、埼東幹線の建設も順調に進捗し、新たに古河～真岡幹線の建設に向けた準備を始めました。当社第4のLNG受入基地である日立LNG基地および茨城～栃木幹線については、2015年度の稼働開始を目標に着実に準備を進めています。

#### 原料調達・輸送・海外上流



- ・イクシスLNGプロジェクトにおけるLNG売買契約と事業参画を決定
- ・米国コーブポイントLNGプロジェクトからのLNG調達の協議を開始
- ・オーストラリア・プルートプロジェクトが生産を開始
- ・ペトロベトナム社との包括協力協定を締結

#### 製造・供給



- ・千葉～鹿島ラインが竣工
- ・古河～真岡幹線の建設に向けた準備を開始
- ・茨城～栃木幹線および日立LNG基地の建設に向けた準備が進展

#### エネルギーソリューション



- ・扇島パワーステーション3号機の検討に着手
- ・分散型エネルギーシステム・ガス空調等の普及・拡大
- ・北海道ガス、西部ガスとのLNG売買契約を締結

連結決算実績と計画	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期
売上高(億円)	15,352	17,542	19,140
営業利益(億円)	1,224	770	990
当期純利益(億円)	954	460	630
ガス販売量(億m <sup>3</sup> )	147	152	149

また、災害に強く安全なガス供給を実現するため、地震・津波対策の強化とともに都市型水害対策の検討に着手するなど、災害対策、保安確保のための対策も強化していきます。

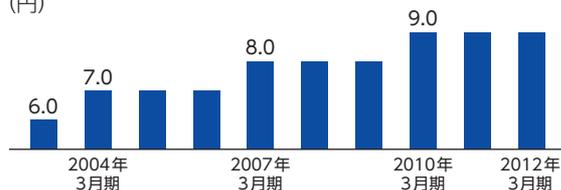
#### 多様なエネルギーソリューションの提供に向けて

電力需給問題の解決に貢献するため、LNG調達力やLNG基地・パイプラインを活かした天然ガス火力発電事業を拡大していきます。国内発電事業については現在の200万kWに対し、2020年には300万～500万kWの規模をめざしており、扇島パワーステーションに新たに3号機を増設するための検討に着手しました。

ピークカットや省エネ、CO<sub>2</sub>削減に資する分散型エネルギーシステム・ガス空調等の普及・拡大をめざし、エネファームやコージェネレーションシステムの販売も加速しました。

天然ガスの全国への普及・拡大、グループの持つ営業力・技術力の活用も進めており、今年度から北海道ガスへのLNG販売を拡大し、2014年度から西部ガスへのLNG販売を開始する予定です。

#### 配当金の推移 (円)



#### 株主還元について

当社では、配当と自社株取得を合わせて連結当期純利益の6割を株主の皆さまに還元する「総分配性向6割程度」を基本方針としております。2012年3月期の株主還元は、1株当たり9円の年間配当に加え、50億円の自社株を取得し消却しました。これにより総分配性向は61.4%となりました。配当につきましては、安定配当を維持しつつ、これまで同様、成長に合わせた緩やかな増配を実現していく所存です。

株主の皆さまにおかれましては、エネルギーと未来のため、またグループの持続的成長のためにまい進する私ども東京ガスグループに、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

2012年6月

岡本毅



## LNGバリューチェーンの高度化に向けて 「チャレンジ2020ビジョン」の進捗

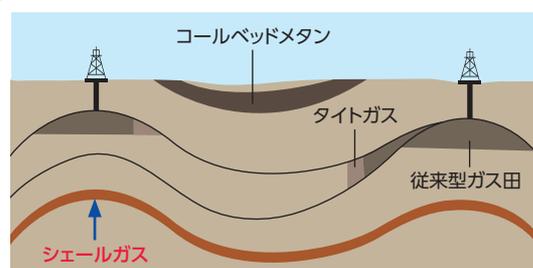
東京ガスグループは、安全性・供給安定性・経済性・環境性がより高いエネルギーを求める社会の要請にお応えするために、東京ガスグループビジョン「エネルギーと未来のために東京ガスグループがめざすこと。～チャレンジ2020ビジョン～」（以下「チャレンジ2020ビジョン」）に取り組んでいます。

ここでは「チャレンジ2020ビジョン」の柱である「LNGバリューチェーンの高度化」に向けたこれまでの主な進捗をご紹介します。

### ① コーブポイントLNGプロジェクトからの米国産LNG調達に向けた協議を開始

当社は、住友商事（株）と共同で、米国メリーランド州コーブポイントLNGプロジェクトの事業主であるDominion Cove Point LNG社（ドミニオン社）と天然ガス液化加工契約の最終合意に向けて協議することで合意しました。

当社では従来の大規模LNGプロジェクトに加え、非在来型天然ガスからの調達、権益取得も進めています。同プロジェクトでは、ドミニオン社が保有・操業するコーブポイントLNG受入基地に天然ガス液化プラントを建設し、2017年の運転開始によるLNGの輸出をめざしています。住友商事（株）は、ドミニオン社との間で、運転開始から20年間に亘り年間230万トンを液化加工する先行契約を締結しています。また液化加工する天然ガスは、住友商事（株）が参画するマーセラス・シェールガスプロジェクトなどからの調達を予定しています。協議が最終合意に達し、輸出承認を獲得すれば、シェールガスを含む米国産非在来型天然ガス由来のLNG調達が実現することになります。



#### シェールガスとは

頁岩（シェール）層の微細な割れ目に閉じ込められた非在来型天然ガスの一種です。近年の技術革新により低コストでの採掘が可能になったことで、天然ガスの可採埋蔵量を飛躍的に増加させました。世界有数の埋蔵量を誇る米国では、2010年の天然ガス生産量のうち23%をシェールガスが占めています。

## 2 扇島パワーステーション3号機の検討に着手

当社グループは、国内に4つの天然ガス火力発電所を保有し、天然ガスという環境に優しいクリーンエネルギーを利用した電力の安定供給に貢献しています。「チャレンジ2020ビジョン」では、震災後の電力需給問題の解決に貢献するべく、当社グループの強みであるLNG調達力、LNG基地・パイプライン設備を有効活用し、天然ガス火力発電事業の拡大を進めています。

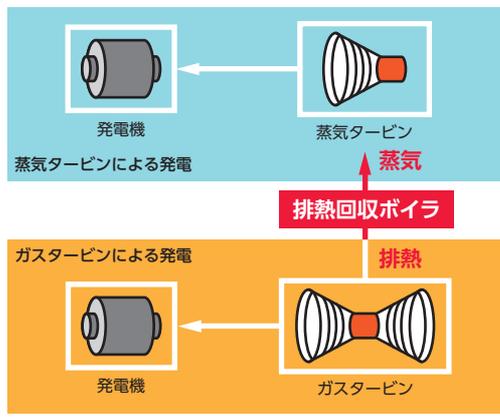
このたび当社は、安定的かつ効率的な電力供給の実現に最も早く貢献できるとの判断のもと、扇島パワーステーション（神奈川県横浜市）3号機の検討に着手しました。

扇島パワーステーションは、高い発電効率で省エネルギー性に優れたガスタービンコンバインドサイクルを採用している最新鋭の発電所です。2010年3月に1号機が運転を開始し、同年7月に運転を開始した2号機と合わせた発電規模81万kWのうち、自社電源は61万kWを構成しています。3号機を含めて環境影響評価の手続きは完了しており、本年秋頃を目処に建設の判断を行い、2016年3月期内の運転開始をめざします。



扇島パワーステーション

### コンバインドサイクルによる発電



### コンバインドサイクルとは

ガスタービンによる発電を行うとともに、その排ガスの余熱を使って蒸気を発生させ、蒸気タービンによる発電も行う発電方式です。従来型の火力発電と比べて発電効率が約1.5倍となり、経済性も高くCO<sub>2</sub>排出原単位が小さいというメリットがあります。

### 3 イクシスLNGプロジェクトへの参画

当社は、国際石油開発帝石（株）のグループ会社との間で、「イクシスLNGプロジェクト」権益に関する売買契約を締結し、WA-37-R鉱区とWA-285-P鉱区の権益、および液化事業会社「イクシスLNG社」株式のそれぞれ1.575%を取得しました。このプロジェクトでは、イクシスガス・コンデンセート田で生産される天然ガスを、オーストラリア北部準州のダーウィン近郊に輸送し、液化・出荷する計画であり、LNG換算で年間最大840万トンの生産が見込まれています。

当社は、「チャレンジ2020ビジョン」の柱である「LNGバリューチェーンの高度化」の実現に向け、原料調達および海外上流事業の多様化・拡大を積極的に進めています。オペレーターである国際石油開発帝石（株）の子会社との間で2017年から15年間に亘り年間105万トンの長期売買契約を締結している本プロジェクトを通じて、安定供給と原料コストの低減を図っていきます。



ダーウィンに建設予定の液化プラント（イメージ）



## 4 幹線パイプライン「千葉～鹿島ライン」が稼働を開始

2012年3月、幹線パイプライン「千葉～鹿島ライン」が完成しました。この幹線は、千葉県の御殿ブランチステーションと茨城県の鹿島ガバナステーションを接続する総延長79.3kmの高圧導管です。これによりこれまで天然ガスの供給インフラが整備されていなかった千葉県北東部地域および鹿島臨海工業地帯を中心とする茨城県東南部地域における工業用のお客さまや周辺ガス事業者天然ガスをお使いいただくことができるようになりました。

2012年5月には、千葉～鹿島ラインを4.4km延伸して「鹿島臨海ライン」が竣工しました。これに

より、同年7月に稼働を開始する予定の東京電力(株)鹿島火力発電所敷地内の、新設ガスタービン発電設備への天然ガスの安定供給を行っていきます。

この幹線の開通により、当社は首都圏を中心に約900kmの高圧導管網を保有することになります。当社は、「チャレンジ2020ビジョン」に掲げた天然ガスの普及・拡大に合わせた最適なインフラの整備・拡充をめざし、お客さまに安心してガスをご利用いただけるよう、安全を最優先とした導管網の拡充と維持管理を行っていきます。

### 千葉～鹿島ラインの概要

始点／終点 御殿ブランチステーション(千葉県千葉市)～  
鹿島ガバナステーション(茨城県神栖市)

圧力／口径 7MPa／600mm

全長 79.3km

着工 2006年7月

竣工 2012年3月

### 鹿島臨海ラインの概要

始点／終点 茨城県神栖市東和田  
(東京ガス鹿島ガバナステーション～  
東京電力(株)鹿島火力発電所)

圧力／口径 7MPa／600mm

全長 4.4km

着工 2011年8月

竣工 2012年5月



# ガスでエコ ガスで節約して楽しくクッキング

今年も暑い夏になりそうです。「節電の夏」を上手に乗り切るために、環境に優しいガスを利用した賢いエネルギー節約術をご紹介します。

## 1 コンロで同時調理して節約

焼いたり、煮たり、ゆでたりするとき、別々の食材を同時に調理するとエネルギー使用量も所要時間も減らすことができます。

\* パスタとプロックリーを同時にゆでた場合と別々にゆでた場合。  
各所要時間は同時調理：15.2分、別々に調理：21.5分

同時調理すると**8.7円**  
別々に調理すると12.2円  
(当社試算)

## 2 給湯器のお湯を利用して節約

お湯を沸かすときに、水道水をそのまま沸かすよりも、給湯器のお湯をコンロにかける方が省エネになります。給湯器のほうがコンロよりも効率がよいからです。

\* 15℃の水を2リットル沸かし、給湯器60℃、水道水15℃の場合。各所要時間は給湯器：3.6分、水道水：7.6分  
\* 給湯器内部の管は蛇口などと同じように公的な基準を満たしているため、水道水のように安心してお飲みいただけます

給湯器のお湯を沸かすと**3.4円**  
水道水の水を沸かすと4.1円  
(当社試算)

## 3 高効率ガスコンロで節約

高効率ガスコンロの熱効率は約56%、IHコンロは約79%ですが、電気はつくる過程や送られてくる段階で約6割は利用されず捨てられます。結果的にIHコンロの効率は約30%となり、エネルギーの効率性ではガスコンロが優れています。

ガスコンロの熱効率  
 $56\% \times 100\% = 56\%$

IHコンロの熱効率  
 $79\% \times \text{実際に利用できる電気} 37\% = 29\%$

## 東京ガス 新宿ショールームが リニューアルオープン



2012年6月29日、東京ガス 新宿ショールームが改装を終えてリニューアルオープンします。これまで以上に体験型施設や展示を充実させることにより、「ガスのある暮らしのよさ」を五感で感じていただく体験型ショールームに進化しました。是非一度立ち寄りください。

住所：東京都新宿区西新宿3-7-13  
営業時間：10:00～18:00、水曜休館  
URL：<http://home.tokyo-gas.co.jp/showroom/tss/>

 このほかにもさまざまな節電・省エネのためのヒントをウェブサイトでご紹介しています。[www.tokyo-gas.co.jp/ultraene/](http://www.tokyo-gas.co.jp/ultraene/)

# ガスで味わう旬の食卓

## 鶏と野菜のマリネ

栄養価の高い夏野菜を使ったさっぱりマリネで、  
厳しい夏を乗り切りましょう。

調理時間：20分 栄養価(1人分)：273kcal 脂質20.8g 塩分1.7g



### 材料(4人分)

- ・ナス(縦半分に切る)(小) 2本
  - ・ズッキーニ(縦半分に切る) 1本
  - ・オリーブ油 大さじ1
  - ・鶏モモ肉 250g
  - ・塩 少々
  - ・コショウ 少々
- A・タマネギ(みじん切り) 1/4コ
- ・ニンニク(薄切り) 1片
  - ・パセリ(みじん切り) 大さじ1
  - ・砂糖 大さじ1/2
  - ・塩 小さじ1
  - ・コショウ 少々
  - ・酢 大さじ3
  - ・オリーブ油 大さじ3
- ・トマト(2cmの角切り)(小) 1コ
  - ・パセリ 適量

### 作り方

- ① ナスとズッキーニは、縦に数ヶ所切り込みを入れ、オリーブ油をからめてグリルで焼く。  

両面焼きグリルの場合	強火6～8分
片面焼きグリルの場合	強火5分、返して約4分

焼き上がったたら食べやすい大きさに切る。
- ② 鶏モモ肉はひと口大に切り、塩、コショウで下味を付けてグリルで焼く。  

両面焼きグリルの場合	強火6～8分
片面焼きグリルの場合	強火5分、返して約4分
- ③ 合わせたAに焼き上がった①、②を漬け込み、冷めたらトマトを加えてパセリを飾る。

### エコ・クッキング\*のポイント

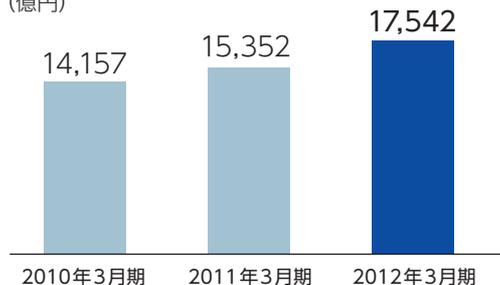
- 1 旬の野菜(ナス、トマト、ズッキーニ)を使う。
- 2 ナスとズッキーニに切り込みを入れ、火通りをよくする。
- 3 グリルを使い、少量の油で揚げ焼きにする。
- 4 ナスとズッキーニを先に焼き、余熱を利用して、鶏肉の焼き時間を短縮する。

\*エコ・クッキングは東京ガス(株)の登録商標です。  
エコ・クッキングとは環境に配慮した食生活全般を意味します。

# 連結決算のご報告

## 売上高

(億円)



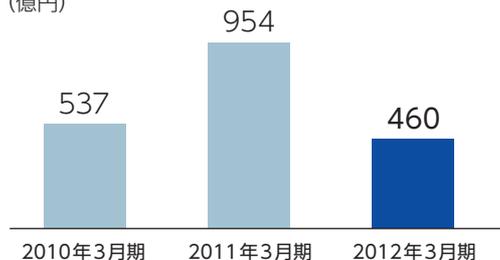
## 営業利益

(億円)



## 当期純利益

(億円)



## 当期 (2011年4月～2012年3月) 業績の背景

### 事業環境について

- ・震災以降、厳しい経済状況にありましたが、国内需要を中心に緩やかな回復が見られました。
- ・短期的には首都圏における電力不足への対応、中長期的にはエネルギーのあり方の見直しが求められる中、天然ガスに対する期待が高まりました。
- ・天然ガスの価格決定に影響する原油価格は、世界的なエネルギー需要の高まりによって上昇しました。

### 売上について

- ・ガス販売量は、業務用需要が震災および省エネ影響による既存設備の稼働減等により減少したものの、工業用需要が震災影響等による発電需要増に伴い増加したこと等により、前期比3.0%増となりました。
- ・都市ガス売上高は、ガス販売量が前期を上回ったことに加え、原料費調整制度に基づく料金単価調整等により、前期と比べて増加しました。
- ・扇島パワーステーション2号機の通期稼働や電力不足に伴い電力需要が増加したことも増収に貢献しました。

### 利益について

- ・原油価格上昇の影響からガス原材料費が増加したこと、および退職給付数理計算上の差異の負担増等により、営業費用が増加し、減益となりました。

## ■ 設備投資 / — 減価償却費

(億円)



前期は扇島パワーステーション建設に伴う設備投資を計上したため、当期の設備投資額は前期比2.5%減少しました。減価償却費は0.6%減少しました。

## ■ 配当金 / — 総分配性向\*

(円 / %)



当期も9円の配当を継続します。また総分配性向は、50億円を自社株取得にあてたことにより、61.4%となりました。

\* 総分配性向 配当金と、当社が行う自社株取得の合計額を連結当期純利益で割ることによって算出する株主還元指標。当社は目標を6割程度としています。

## ■ 有利子負債 / — D/Eレシオ

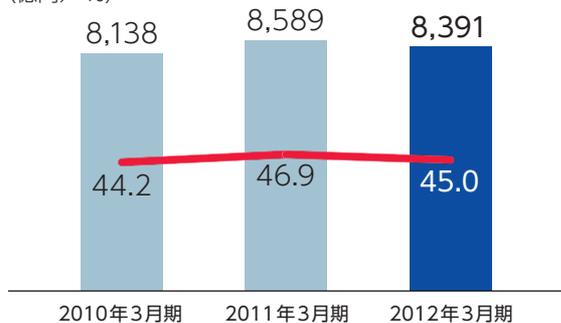
(億円 / 倍)



社債の発行、長期借入金の新規借入等により、有利子負債は前期比7.1%増加しました。D/Eレシオは0.07ポイントの増となりました。

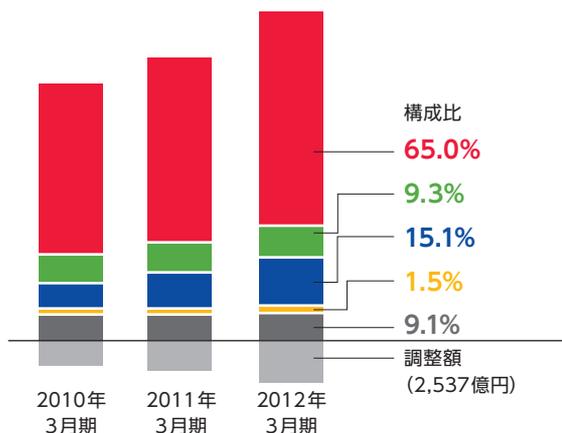
## ■ 自己資本 / — 自己資本比率

(億円 / %)



自己株式の買付、配当金の支払等が当期純利益を上回り、自己資本は前期比2.3%減少しました。自己資本比率は1.9ポイント下落しました。

## セグメント別売上高



### ■ 都市ガス 1兆3,062億円

1,086万件のお客さまに都市ガスを販売しています。売上高は前期比14.9%増加しました。ガス販売量の詳細は右図のとおりです。

### ■ 器具及びガス工事 1,876億円

ガス器具の販売や、お客さまの敷地内のガス工事を行っています。売上高は前期比5.7%増加しました。

### ■ その他エネルギー 3,025億円

エネルギーサービスや、電力・LPGの販売を行っています。売上高は前期比36.7%増加しました。

### ■ 不動産 296億円

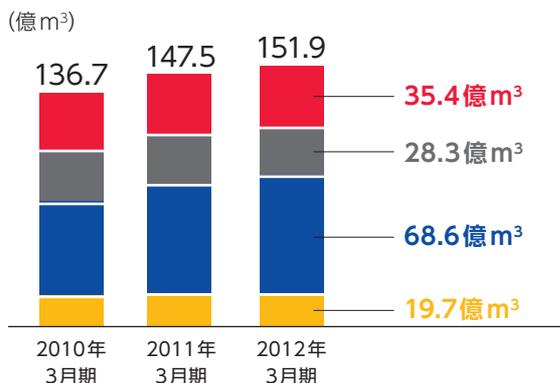
新宿パークタワーをはじめとする、商業・オフィス施設の賃貸・管理等を行っています。売上高は前期比9.5%減少しました。

### ■ その他 1,818億円

建設、情報処理サービス、船舶、クレジット・リースなどの事業を行っています。売上高は前期比12.1%増加しました。

## 用途別ガス販売量の実績

当期のガス販売量は、業務用需要が震災および省エネ影響による既存設備の稼働減等により減少したものの、工業用需要が震災影響等による発電需要増に伴い増加したこと等により、前期比3.0%増の151.9億 $m^3$ となりました。



### ■ 家庭用 0.5%増

春先の高気温による給湯需要の減少があったものの、冬場の低気温による給湯・暖房需要の増加があったこと等により、微増となりました。

### ■ 業務用 7.1%減

夏場の低気温による空調需要の減少に加え、震災および省エネ影響による既存設備の稼働減等により減少しました。

### ■ 工業用 9.9%増

既存設備の稼働増に加え、震災影響および扇島パワーステーション2号機の通期稼働に伴い発電需要が増加したこと等により増加しました。

### ■ 他事業者向け供給 1.2%増

冬場の低気温による供給先事業者の需要増により増加しました。

# 会社情報

## 会社概要 (2012年3月31日現在)

商号	東京瓦斯株式会社
本社所在地	〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20
創立	1885 (明治18) 年10月1日
従業員数	7,774人 (連結16,528人) 注: 従業員数は常勤の就業数を記載しており、出向者および臨時従業員を含みません。
格付け	AA+ (R&I: 格付投資情報センター) Aa3 (ムーディーズ) AA- (スタンダード&プアーズ) AAA (JCR: 日本格付研究所)
連結子会社	66社
持分法適用関連会社	5社

## 取締役および監査役 (2012年6月28日現在)

取締役会長 鳥原 光憲	取締役 (常務執行役員) 大谷 勉	社外取締役 佐藤 行雄 富澤 龍一 中垣 喜彦	常勤監査役 森 邦弘 福本 学
代表取締役社長 (社長執行役員) 岡本 毅	取締役 板沢 幹雄 吉野 和雄 幡場 松彦	社外監査役 増田 幸央 大澤 正之 森田 嘉彦	
代表取締役 (副社長執行役員) 村木 茂 広瀬 道明			

## 執行役員 (2012年6月28日現在)

常務執行役員 青沼 光一 救仁郷 豊 三神 正博 尾花 秀章	執行役員 小林 裕明 内田 高史 安岡 省	執行役員 久保田 宏明 高橋 秀文 田邊 義博 村関 不三夫 荒井 英昭	執行役員 高松 勝 高橋 道晴 原文比古 傳 清忠 齊藤 隆弘
--	--------------------------------	---	--

## 株式の状況 (2012年3月31日現在)

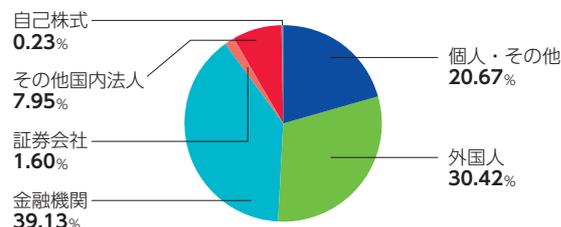
資本金	141,844,398,888円
発行可能株式総数	6,500,000,000株
発行済株式の総数	2,590,715,295株
株主数	139,485名

## 大株主 (2012年3月31日現在)

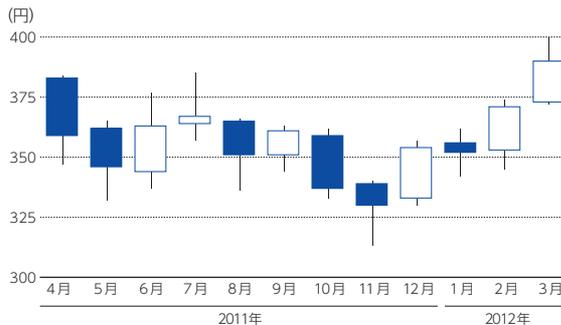
株主名	持株比率 (%)	持株数 (千株)
日本生命保険相互会社	6.31	163,000
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	5.24	135,537
第一生命保険株式会社	4.66	120,472
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3.75	96,948
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	2.28	58,992
東京瓦斯グループ従業員持株会	1.82	46,927
富国生命保険相互会社	1.59	41,103
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1.57	40,493
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託第一生命保険口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	1.37	35,490
三菱商事株式会社	1.08	27,959

注: 持株比率は自己株式 (6,005,359株) を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況 (2012年3月31日現在)



## 株価の推移 (東京証券取引所)



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日  
中間配当：毎年9月30日

証券コード 9531

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

郵便物送付先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

### 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際に同封している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行われる際には、添付資料としてご利用いただけますので大切に保管してください。ただし、株式数比例配分方式で配当をお受け取りの株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算が証券会社等で行われるため、確定申告時の添付資料に関するお問い合わせは、お取引の証券会社にお願いいたします。

## 株式に関するお問い合わせ先

株式に関する各種手続は、お取引の証券会社でのお取扱いとなります。

なお、保有株式が特別口座で管理されている場合は、特別口座管理機関の三井住友信託銀行株式会社でのお取扱いとなります。[TEL 0120-782-031 (受付時間：平日9:00-17:00)]

## 東京ガス株式会社

東京ガス通信に関するお問い合わせ

**TEL 03-5400-3888**

財務部IRグループ

株式その他のお問い合わせ

**TEL 03-5400-3894**

総務部総務グループ

### ウェブサイトをご活用ください



個人投資家の皆さま向けにまとめた情報は、こちらからご覧ください。当社の事業や魅力を分かりやすく解説しています。

社長メッセージと当社の経営戦略が掲載されています。

最新のお知らせや資料は、こちらにまとめられています。



[www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir\\_j.html](http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir_j.html)



この冊子は、社内の使用済み文書、管理された植林材および再・未利用材を原料とした「東京ガス循環再生紙」と、有機溶剤の少ない植物油インキを使用して印刷しています。